

札幌型ものづくり開発推進事業成果事例紹介

- Q1** 開発事業はいつ頃から、どのようなことを背景として、何を目的に始められたのでしょうか。
- Q2** 開発事業において困難だったことと、その困難を乗り越えたパートナーシップや創意工夫について教えてください。
- Q3** 開発事業の成果はどのように展開される計画でしょうか。市場規模や売り込み先の見込み、展開方法などを教えてください。

③ケモカイン受容体抗体による線維化治療薬の創製

株式会社エヌビー健康研究所

Q1 開発事業の目的・背景

「線維症」という肺や腎臓が硬くなってしまう病気があります。予後も悪く、患者さんの生活の質(QOL)も大きく低下してしまう病ですが、治療薬はほとんどないのが現状です。

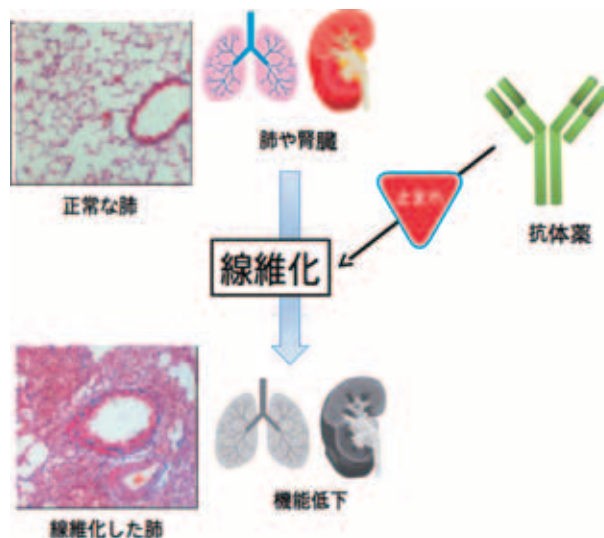
近年、ある分子が線維化の過程に密接に関わっていることが、様々な研究により明らかとされてきました。我々はその分子をターゲットとした抗体を取得し、2011年に特許を出願したため、この抗体を使った線維症治療薬を開発し、患者さん達のQOLの改善につなげたいと考え、本事業を開始しました。

Q2 開発事業の経過

医薬として開発する抗体が、ヒトの標的分子にしか反応しないものでした。もちろんヒトで実験することはできないので、実験のために動物用の抗体を新たに作製しました。また、開発する治療薬のコンセプトを検証する為に、オリジナルの動物モデル実験系も構築しました。これらの抗体と動物モデルを使用することで、目指している新たな線維化治療薬の実現性を確認し、プロジェクトが大きく推進しました。

Q3 事業展開

現在の研究成果を、実際の線維症治療薬へと進めるために、臨床試験の開始に必要な研究データの取得を進めております。なるべく早く患者さんに薬を届けるために、製薬企業との連携を図るべく国内外の商談会で本事業を紹介しております。複数の製薬企業から好感触を得ており、現在もやり取りを続けている段階です。目的とする線維化治療薬として開発に成功すれば、全世界で年間売上1,000億円程度の市場形成を見込んでいます。



会社情報

会社名／株式会社エヌビー健康研究所
住 所／札幌市北区北21条西12丁目2
TEL／011-708-7156 FAX／011-708-7157
代表者／代表取締役 高山 喜好
創 立／2006年7月7日
従業員数／7名
URL／<http://www.nbhl.co.jp/>